



もとみや 議会だより

第 70 号

令和4年4月発行

桜を見ながらお散歩！
(もとみや幼児の家保育園)

新年度予算審査 P.2~5
一般質問12名が登壇 P.13~19

本宮市議会

ホームページアドレス
メールアドレス

<http://www.city.motomiya.lg.jp/site/gikai/>
gikai@city.motomiya.lg.jp



500万円



市民一人当たり
約52万円

※R4.4.1の人口3万25人

教育費 19億6,808万円

市民一人当たり 6万5,548円



学校教育や国際交流に

民生費 40億3,609万円

市民一人当たり 13万4,424円



子ども・高齢者福祉に

衛生費 19億3,182万円
市民一人当たり 6万4,340円
新型コロナウイルス感染症対策等に

土木費 17億7,283万円
市民一人当たり 5万9,045円
道路整備・駅前整備に

総務費 15億7,599万円
市民一人当たり 5万2,489円
職員給与や定住対策に

消防費 6億6,399万円
市民一人当たり 2万2,115円
消防・防災対策に

商工費 4億689万円
市民一人当たり 1万3,552円
商工業・観光振興に

農林水産業費 3億2,254万円
市民一人当たり 1万742円
農林業の振興に

議会費 1億8,205万円
市民一人当たり 6,063円
議員報酬・議会運営に

労働費 1,614万円
市民一人当たり 537円
雇用・就労対策に

災害復旧費・予備費等 8,052万円
市民一人当たり 2,682円

公債費 26億6,806万円

市民一人当たり 8万8,861円



借入金返済に

令和4年度 予算

一般会計 156億 2,000万円

「もっと笑顔に！
未来へ躍進するまちもとみや」を
目指します！



予算編成方針

令和4年度の市政運営にあたっては、本年1月に、本市は合併15周年を迎えたことから、合併20周年へ向け、新たなスタートの年として、「もっと笑顔に！未来へ躍進するまちもとみや」をスローガンに、今後「人口の減らないまち」と「活力ある地域」を目指し、本市の明るさと元気を市民の皆様と共に創出するとし、重点的に取り組む施策として次のものを挙げました。

- 子育て・結婚の総合的支援の充実
- 健やかな体の育成
- 読書活動の推進
- スポーツ環境の整備・充実
- 健康づくり・管理の推進
- 高齢者の活躍推進・総合支援
- 障がい者の支援体制の整備・充実
- 農業の振興
- 商業・工業の振興
- 環境負荷の低減・ごみの減量化
- 防災体制の整備
- 消防組織の充実
- 公共交通システムの整備・強化
- 市民活動・協働の推進
- 国際交流・多文化共生の推進

これらの施策を推進し、今後とも第2次総合計画と財政運営計画のものと行政改革に取り組むとともに、「笑顔あふれる人と地域が輝くまち」を目指し、市民サービスの維持向上に取り組むとしています。

予算審査質疑 ピックアップ

総務費

委託料の増減内訳は

問 文書広報費の委託料は前年比1,300万円増額になっている。事業の中心は本宮市PR映像更新業務委託が削除されているが説明ではホームページ保守・管理委託で増額であった。更に詳しい説明を。

答 PR映像更新業務委託は作成した映像が5年経過したため見直しの準備期間として予算を計上していない。ホームページ保守・管理業務委託、ホームページ構築業務委託では、ホームページから公共施設の予約ができるシステムの導入等を予定しており増額となっている。

民生費

遠隔手話通訳の内容は

問 遠隔手話通訳業務委託のリモートでの利用とのことだが利用可能時間は。聴覚障がいの方は操作方法を把握してすぐ利用できるものなのか。

答 利用時間は8時30分から17時15分までと想定している。操作方法については障がい者の方から使ってほしいと要望があり、聴覚者協会で運営しているもののため、全員ではないが、多くの人が把握していると考えている。なお、広報等を利用して多くの方へお知らせしていきたいと考えている。



▲遠隔手話通訳で利便性を高めていく

各会計予算額

一般会計	156億2,500万円
国民健康保険（事業勘定）	26億3,125万円
特別会計（直営診療施設勘定）	9,643万円
後期高齢者医療特別会計	3億3,080万円
介護保険特別会計	27億6,814万円
工業用地造成事業特別会計	1億2,980万円
工業用地資産運用事業特別会計	1億1,462万円
水道事業会計	17億5,894万円
公共下水道事業会計	13億1,498万円
総計	247億6,996万円

一般会計の歳入内訳

市税	43億5,945万円
地方交付税	30億6,278万円
市債	25億3,110万円
県支出金	18億7,490万円
国庫支出金	14億6,908万円
地方消費税交付金	7億1,869万円
繰入金	6億 620万円
繰越金	2億0,000万円
地方譲与税	1億9,007万円
その他（使用料及び手数料等）	6億1,273万円
総計	156億2,500万円

問 農業委員会の委員を3名増やすということだが、現在農業委員がいない地区から委員を選出するのか。

答 色彩選別機を6カ所あるライスセンタリーのうち4カ所に設置することだが、残り2カ所にはすでに設置済みなので。

問 地区が本宮6地区、白沢6地区あり、今回増員になる3名は不在地区から出てもうれば一番良いがそうでない場合も不在地区に割り当てる予定である。色彩選別機について1カ所は導入済みでもう1カ所は未導入である。未導入の場所については、先に導入した場所の状況などを見て導入を考えたいとのことであった。

答 地区が本宮6地区、白沢6地区あり、今回増員になる3名は不在地区から出てもうれば一番良いがそうでない場合も不在地区に割り当てる予定である。色彩選別機について1カ所は導入済みでもう1カ所は未導入である。未導入の場所については、先に導入した場所の状況などを見て導入を考えたいとのことであった。

問 国内派遣交流事業実施委託料について、富良野市に昨年は19名予定されていたが今年は11名ということで減となった経緯は。

答 また、放射能対策費の委託料が500万円減となっている要因は。

問 基本的には6年生各クラスに応じた人数プラス随員職員4名であり考え方は昨年と変わっていない。

答 放射能対策費については、学校で給食の検査をしているが、基準値である10ベクレルを超えることがなく、給食一品ごとの検査ではなく一食丸ごとの検査とすることで、検査時間等の短縮等が要因として減となる。

市長への総括質疑

市長3期4年目、当初予算への思いは

問 東日本大震災から11年を迎えた。未曾有の大震災以来、本市においては東日本台風や福島県沖地震など自然災害に見舞われた。我々が経験したことのないことが次々と起こり、市民生活を脅かしている。本市の最上位計画である第二次総合計画は令和4年度で4年目を迎える。市長就任3期4年目の当初予算にあたり、どのような思いで予算編成をされたのか伺う。

答 東日本大震災から11年間災害続きであった。市民の皆さんと議論を重ねて一つ一つ乗り越えようとしてきた。今年1月で市政執行15周年を迎え、令和4年度を見つめるのではなく、市政20周年を見つめてそのスタートの年にしようということでも予算編成を行った。

色彩選別機購入補助の考え方は

問 色彩選別機の導入について、市が機器を買って貸与し、7年かけて導入費用の半額を市に返済するということで、予算上見ると導入費用を7年間、耐用年数相当の半分を使用料として計上されている。普通は7で割って二分の一バックだと考えるがこの事業の形はしっかりとできてきているのか。また、ライスセンタール導入することだが、個人への対応はどうなるのか。

答 また、五百川駅前広場の整備で、用地費、工事費が1億3,000万円計上されているが令和3年度の調査設計の内容が示されていない。姿が見えないが今後の進め方は。

問 今年度、米価が大幅に下落した。そのため、初期投資をできるだけ少なくするため、リース形式のようにできないかと考え、前例踏襲にとらわれずに計上した。個人の方には既存の機械補助で対応出来るように進めていきたい。委員会の皆さんの強い要望であった危険回避を早くやるということ、行動に移させてもらいたいと思う。新年度で意見を聞きながらできるだけ多くの人が良しとできる広場を造るための一歩を進めさせて欲しいという思いでの予算提出となった。

令和4年度予算の所見は

問 多世代交流施設の体育館は震災で大きなダメージを受けた。現在見積中とのことだが、令和4年度中の予算に計上できるのか。

答 県道須賀川・二本松線の枝沢橋掛け替えや関根橋掛け替えの問題について、隣接地に第1保育所がオープン予定であるが所見について伺う。

問 ウクライナとロシアの紛争の影響で数十品目の値上げが予想されると報道されている。新年度予算における資材の不足、値上がりに対する対処、所見を伺う。

答 通常の「今年度は設計で来年度施行する」という概念を廃止したい。早くできたら早く発注する。可能であれば出来るだけ早く直したいと思っている。多くの世代に楽しんでもらえるようリニューアルしたい。

問 今回陳情が提出され、委員会で可決された。決議を尊重したい。県には保育所も建設され市道も拡幅するので一緒にやってくださいとお願している。保育所だけでなく様変わりしてきている土地である。県に合わせてやっていきたい。

答 本市で資材不足、高騰が出てきた場合には、それに対応するだけの予算は追加しなければならないと考えている。始まった仕事をそれを理由に遅らせてはいけない。注視しながら適時適切に対応していきたい。

各会計予算など 42議案を可決

定例会 3月

3月定例会（第1回本宮市議会定例会）は、条例の制定や各会計予算など39議案、報告2件、議員発議3件が提出され、採決を行った結果、すべての議案を原案どおり可決しました。また、陳情3件が提出され、採択と決定しました。

令和4年度の各会計予算については、予算審査特別委員会を設置し、4日間にわたって集中審議を行いました。詳細は2ページから5ページの掲載のとおりです。



今議会に提出された令和3年度一般会計補正予算（第12号）の主なものは、歳出では、都市公園施設長寿命化事業にかかる、工事監理業務委託料及び公園施設更新工事費や英国庭園イベント広場等整備工事費、白沢公民館大ホール等改修工事設計業務委託料、教育施設等整備事業基金並びに五百川駅前広場等整備基金積立金、万世地内の土地取得にかかる、土地開発基金への積み戻し分として土地購入費などが計上されました。

また、歳入では決算見込みによる市税、地方譲与税、各種交付金、地方交付税、国・県支出金、繰入金、市債など各歳入予算の増減がそれぞれ計上されています。

一般会計補正予算（第12号）

英国庭園イベント広場等整備 工事費等を計上

議案質疑

消防団員報酬改定の根拠は

消防団の団員の報酬の改定に何か基準はあるのか。また、災害出勤報酬が職員とは違いがあるのはなぜか。

消防庁長官から消防団員の処遇改善、報酬等の基準を改定するよう通知があり、国が定めた基準、額によって設定した。消防団員は作業をする場合の基準単価で考えている。職員は別の考え方で設定している。

《補正予算の主な内訳（第12号）》

歳出	
財政調整基金積立金	3億304万円
公園施設更新工事費	
英国庭園イベント広場等整備工事費	1億7,161万円
歳入	
第1保育所整備事業債	3億3,180万円
普通交付税	2億2,623万円

令和3年度

一般会計総額 199億5,593万円に



▲今後整備が進められる五百川駅前広場

一般会計補正予算(13号) (追加議案)

認知症グループホーム等防災 改修等支援事業補助金を増額

今議会に追加議案として提出された令和3年度一般会計補正予算(第13号)は、あだち福祉ケアハウスなごみ苑に対し、老朽化している空調設備の改修事業にかかる、認知症グループホーム等防災改修等支援事業補助金についてそれぞれ歳入歳出予算の補正を行うものです。

「福島県最低賃金の引き上げと 早期発効を求める意見書」を提出

日本労働組合総連合会福島県連合会二本松・安達地区連合から提出された「福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情書」については、採択となり、内閣総理大臣等に対し、意見書を提出することとしました。

人事

今定例会では、市長から任期満了に伴う教育委員会委員の任命についての議案が上程され、全会一致で同意しました。

教育委員会委員(再任)

渡辺 俊之氏

(白岩字馬場)

また、任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員の任命についての議案が上程され、全会一致で同意しました。

固定資産評価審査委員会委員(再任)

鈴木 文男氏

(荒井字荒井)

固定資産評価審査委員会委員(再任)

伊藤 クニ氏

(本宮字南町裡)

固定資産評価審査委員会委員(新任)

伊藤 成章氏

(和田字作田)

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会には、本宮市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定のほか、議案6件が付託されました。主な審査内容は、次のとおりです。



▲委員会での審査の様子

本宮市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定

説明 非常勤職員の育児休業等の取得要件の緩和、育児休業等取得しやすしい勤務環境整備に係る措置の義務付け等を行う。

問 条例改正前、改正後ともに育児休業中は無給のままだが、改正によるメリットは。

答 これまでの在職期間が1年以上の育児休業取得要件が廃止され、育児のために退職せず、また育児休業後も復職しやすい環境となる。

本宮市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定

説明 ガソリン価格の変動など、職員の通勤事情等を踏まえ、自動車等を使用している職員に対する通勤手当の上限額を引き上げる。

問 通勤手当が改正となる際のガソリン価格の変動の条件は。

答 福島県人事委員会勧告に基づいており、引き上げする際の具体的な条件は示されていない。

福島市と本宮市との連携 中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議について

説明 福島市と本宮市との連携協約について、議決を求める。

問 福島圏域との連携で期待することは。

答 郡山広域圏にも福島圏域にも多くの方が通勤通学している。双方の広域圏のサービスを受けられるようになることで、市民サービスの向上を期待できる。

生活福祉常任委員会

生活福祉常任委員会には、本宮市手話言語条例制定のほか議案3件が付託されました。

主な審査内容は、次のとおりです。



▲委員会での審査の様子

本宮市消防団設置等に関する条例の一部を改正する条例制定

説明 本宮市消防団のなり手不足問題に対し、処遇改善を計り団員確保を目指す。

問 消防団員のなり手不足や団員の確保対策をどうしていくのか。

答 今条例改正により、団員の年額報酬及び出勤報酬を引き上げることなどの処遇改善を行い、団員確保を図ってまいります。

本宮市手話言語条例制定

説明 手話を言語として必要とする人や地域の多様性を認めることにより、支えあいの輪と豊かな文化が広がる本宮市を実現できるよう手話条例を制定する。

問 手話を必要とするろうあ者や難聴者の本宮市内の人数及び市の今後の財政的な支援策は。

答 難聴のため身体障害者手帳を所持している方は現在93名となっている。今後の事業として手話講習会の開催、学校や公共施設へ手話啓発図書の配布、及び窓口で手話が必要な場合には県が実施するオンラインでの手話通訳サービスを活用し、市民にとって手話がより身近なツールとして使用できる環境づくりを進めていく。

産業建設常任委員会



▲市道館ノ越・関根線の現地調査の様子

産業建設常任委員会には、陳情2件及び専決処分の承認を求めることについて他6件の議案が付託されました。
主な審査内容は、次のとおりです。

本宮市都市公園条例の一部を改正する条例制定

説明 みんなの原っぱ運動広場の整備及び本宮運動公園庭球場改修等に伴い、改正を行う。

問 今後の本宮運動公園の整備予定は。

答 本宮運動公園のテニスコート2面及び管理棟の改修が本年1月に完了している。令和4年度に予定していたテニスコート3面と、夜間照明の工事費は国の補正予算を活用し、3月補正で計上しており、早期に工事発注を行い、来年2月の完成を目指していく。

本宮市市営駐車場指定管理者の指定

説明 現指定期間が令和4年3月31日をもって満了となるため、指定管理者を指定するため公募した結果、株式会社モットコムもとみやの1団体から申し込みがあり、株式会社モットコムもとみやを指定した。

問 一般駐車場と月極駐車場の調整は。

答 月極契約者の利用が少ない時間帯に一般利用可能数を増やすなど、駐車場の区画数に応じた運用の中で調整を行っている。

陳情審査

陳情第1号「市道館ノ越・関根線ほか関連道路等の整備及び百日川河川改修と橋梁架け替えの早期完成を求める陳情書」及び、**陳情第3号**「水田活用の直接支払交付金の見直しの中止を求める陳情書」について、審査を行い、採択と決定しました。

現地調査

市道館ノ越・関根線ほか、陳情事項箇所の現地調査を行いました。

意見書提出

3月定例会において、発議第3号が可決されたことを受け、国に対して意見書を提出しました。
意見書の内容については以下の通りです。

「水田活用の直接支払交付金」の見直しの中止を求める意見書

政府は、深刻な米価下落対策に十分な対策をとらないまま、昨年11月19日、新たに26万トンの主食米生産数量を削減する計画を発表しました。

同時に2022年度から「水田活用の直接支払交付金」を見直すことを発表しました。その内容は、畔や水路がなく水張りができない水田や、2022年から2026年の5年間に1度も米を作らなかった水田を「水田活用の直接支払交付金」の対象から外すというものです。

これが実施されれば、永年作物や牧草地利用など、転作に協力してきた農家への打撃は計り知れません。減反を拡大する一方で、これまで政府に長年にわたって協力してきた農家を交付金の対象から排除することは到底、受け入れられません。

よって国においては、次の措置を講ずるよう強く要望します。

1. 「水田活用の直接支払交付金」の見直しは行わないこと。

本会議での討論

3月18日の本会議で、議案第20号、第31号、第32号について討論がありました。主な内容は次のとおりです。なお、議案の賛否一覽は12ページに掲載しています。

議案第20号
福島市と本宮市との連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議について

反対討論 **渡辺忠夫 議員**

郡山市と既に連携協約を結んでいる為、新たに福島市と連携協約を結ぶ必要はないと考える。
構想そのものからすると、その地域全体がもう発展しない、人口がどんどん減るという前提で進められていることから、各地域を発展させるという立場から考えれば良い方向には進まないと考ええる。

賛成討論 **石橋今朝夫 議員**

本議案は、福島市を中心市とし、本圏域ならではの特徴を生かしつつ、高次都市機能の集積・強化と、暮らしやすく住みたくなる魅力ある圏域づくり等を推進し、圏域全体の経済成長を図り、ふくしまの復興創生をけん引することを目的としている。
それぞれの圏域の強みを活かし、弱みを支え合うことで、人口減少・少子高齢社会にあっても、地域を活性化し持続可能なものにすると考ええる。

議案第31号
令和4年度本宮市一般会計予算

反対討論 **渡辺忠夫 議員**

令和4年度予算で最大の課題は、新型コロナウイルス感染症から市民の命、暮らしを守ることだと思いが、徹底した検査を実施していくというものになっていない点で予算は不十分である。
第2に子育て支援で、大きな負担となっている学校給食費の支援は、地域や保護者の期待も大きい。大玉村を見習うべき。

次に農業支援では、政府が米を市場任せにした95年以降、米価下落が続ぎ、農家の大多数が赤字生産である。国がやるべきと言っているが、国より先に地方がなくなるといふ危機感を持つべき。一部の農家ではなく、誰一人取り残さない支援策を求める。

賛成討論 **三瓶幹夫 議員**

子育て支援については、本宮第1保育所の建設と周辺環境の整備など、次世代を担う子供たちが健やかに成長できる総合的な環境の充実を入れている。
次に、新型コロナウイルス対策では、現在3回目の追加接種を実施し、今後も、感染拡大防止対策の徹底と支援を進めるとともに、市内経済活動を守るものである。
最後に、農業支援については、農業委員会活動を効率的にするため、委員の定数を増員し、各種事業を展開し、農業の振興が図られていくものと考ええる。

議案第32号
令和4年度本宮市国民健康保険特別会計予算

反対討論 **渡辺忠夫 議員**

何回か話題を出したことがある、子どもの均等割が国の負担で軽減されることとなったが、この際、子どもの均等割を全面的に減免する対応を取るべき。
国の責任でやるべきだが、国では半分程度しか補助しないため、市で全面的に補助をするべきである。

6月定例会までは時間があるので、それまでに修正されるように期待を込めて本案に反対する。

賛成討論 **三瓶幹夫 議員**

本予算は、国民の生命と健康を守る医療を支える重要な予算であり、医療費の増加や新型コロナウイルス感染症の影響への対応も考慮しながら、健全運営に努めなければならぬ状況である。
そのような情勢の中で、「医療費適正化対策」「保健事業の積極的推進」「保険税収率向上対策」などを柱としながらも、子育て世代への支援策として、未就学児の被保険者均等割額の軽減対策も盛り込んだ予算となっている。

議決結果一覽表

議案番号	議 案 名	議決結果
議案第1号	教育委員会委員の任命について	同 意
議案第2号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意
議案第3号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意
議案第4号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意
議案第5号	専決処分の承認を求めることについて (専決第1号 令和3年度本宮市一般会計補正予算(第10号))	承 認
議案第6号	専決処分の承認を求めることについて (専決第4号 令和3年度本宮市一般会計補正予算(第11号))	承 認
議案第7号	本宮市手話言語条例制定について	原案可決確定
議案第8号	本宮市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第9号	本宮市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第10号	本宮市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第11号	本宮市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第12号	本宮市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第13号	本宮市保育所条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第14号	本宮市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第15号	本宮市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第9条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第16号	本宮市都市公園条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第17号	本宮市消防団設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第18号	本宮市自主的財政健全化に関する条例を廃止する条例制定について	原案可決確定
議案第19号	本宮市白沢総合支所庁舎建設基金条例を廃止する条例制定について	原案可決確定
議案第20号	福島市と本宮市との連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議について	原案可決確定
議案第21号	本宮市営駐車場指定管理者の指定について	原案可決確定
議案第22号	市道路線の廃止について	原案可決確定
議案第23号	市道路線の認定について	原案可決確定
議案第24号	令和3年度本宮市一般会計補正予算(第12号)	原案可決確定
議案第25号	令和3年度本宮市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決確定
議案第26号	令和3年度本宮市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決確定
議案第27号	令和3年度本宮市介護保険特別会計補正予算(第5号)	原案可決確定
議案第28号	令和3年度本宮市工業用地造成事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決確定
議案第29号	令和3年度本宮市水道事業会計補正予算(第6号)	原案可決確定
議案第30号	令和3年度本宮市公共下水道事業会計補正予算(第5号)	原案可決確定
議案第31号	令和4年度本宮市一般会計予算	原案可決確定
議案第32号	令和4年度本宮市国民健康保険特別会計予算	原案可決確定
議案第33号	令和4年度本宮市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決確定
議案第34号	令和4年度本宮市介護保険特別会計予算	原案可決確定
議案第35号	令和4年度本宮市工業用地造成事業特別会計予算	原案可決確定
議案第36号	令和4年度本宮市工業用地資産運用事業特別会計予算	原案可決確定
議案第37号	令和4年度本宮市水道事業会計予算	原案可決確定
議案第38号	令和4年度本宮市公共下水道事業会計予算	原案可決確定

議決結果一覧表

議案番号	議案名	議決結果
議案第39号	令和3年度本宮市一般会計補正予算（第13号）	原案可決確定
報告第1号	本宮市自主的財政健全化計画の令和2年度実施状況について	
報告第2号	専決処分の報告について （専決第2号 和解及び損害賠償額の決定について） （専決第3号 和解及び損害賠償額の決定について）	
発議第1号	ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議する決議	原案可決確定
発議第2号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書	原案可決確定
発議第3号	「水田活用の直接支払交付金」の見直しの中止を求める意見書	原案可決確定
	閉会中継続調査申出書（議会運営委員会）	決 定
	閉会中継続調査申出書（各常任委員会）	決 定

陳情一覧表

受理番号	受理年月日	付託委員会	件名	提出者の氏名	審議結果
陳情第1号	令和4年2月9日	産業建設	市道館ノ越・関根線ほか関連道路等の整備及び百日川河川改修と橋梁架け替えの早期完成を求める陳情書	本宮9区行政区 区 長 齋藤 一利	採 択
陳情第2号	令和4年2月15日	省 略	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情書	日本労働組合総連合会 福島 県連合会 二本松・安達地区連合 議 長 高橋 誉	採 択
陳情第3号	令和4年2月17日	産業建設	「水田活用の直接支払交付金」の見直しの中止を求める陳情書	安達地方農民連 会 長 佐藤 佐市	採 択

3月定例会賛否一覧

これら以外の議案等は11ページのとおり全会一致で可決されています。

議員名 議案番号	みらい創和会				新風会			志誠会		共	無 所 属									
	円谷 長作	石橋 今朝夫	磯松 俊彦	渡辺 由紀雄	斎藤 雅彦	川名 順子	根本 利信	三瓶 裕司	橋本 善壽	菊田 広嗣	渡辺 忠夫	遠藤 初実	馬場 亨守	三瓶 幹夫	菅野 健治	渡辺 秀雄	渡辺 善元	伊藤 隆一	作田 博	国分 勝広
議案第20号	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※○は賛成 ●は反対 欠は欠席 議長（三瓶裕司）は採決には加わらない
※会派名の略称は以下のとおり 共…日本共産党

一般質問

市政を問う

3月定例会の一般質問は、12名の議員が登壇し、3日間にわたって行われました。
1 議員2題、内容を要約してお伝えします。

14ページ：

■菊田広嗣 議員

- ・ 一部地域の学校選択制について
- ・ 空き家バンクの現状と課題は

■菅野健治 議員

- ・ 古城ヶ谷戸征矢田線の現状対策は
- ・ 市消防団白沢五分団屯所について

15ページ：

■磯松俊彦 議員

- ・ 本宮市発足15周年にあたって
- ・ 食料安定供給の見通しについて

■馬場亨守 議員

- ・ 令和元年東日本台風被害について
- ・ 市道の修繕について

16ページ：

■根本利信 議員

- ・ 温室効果ガスの現状と取組みは
- ・ 本市の成人式の在り方は

■石橋今朝夫 議員

- ・ 支援者の人材育成取り組み状況は
- ・ 肥満傾向児への取り組みは

17ページ：

■斎藤雅彦 議員

- ・ 認知症施策の新たな取り組みは
- ・ 不足する人材確保の取り組みは

■遠藤初実 議員

- ・ JR五百川駅周辺の開発について

18ページ：

■国分勝広 議員

- ・ 定住促進を図る方策は
- ・ 子育て支援は人の集まる街の基本

■円谷長作 議員

- ・ SDGs 事業継続支援を
- ・ ゴミ出し支援を行政区支援事業で

19ページ：

■渡辺忠夫 議員

- ・ ワクチン接種や検査等の状況は
- ・ 学校給食への支援費増額は

■三瓶幹夫 議員

- ・ 普通財産更地の将来性について
- ・ 通学路への防犯灯設置について



問 一部地域の学校選択制について

答 一部学区の線引きは非常に困難

菊田 広嗣
議員
(志誠会)

問 学校選択制を導入した自治体のアンケートでは、選択した理由は「自宅から近く通学しやすい」が回答の7割を超えており、通いやすいことを重視している。本市の学区割はそうなっていないが一部だけでも学校選択制の導入の考えは。

答 現在は学区制度というところで線引きされている。それを一定の地区の方に選択権を与えましようとなったとき、そこで線引きされたがその隣の人はどうするんだというような問題が必ず出てくる。十分に検討しなければならぬ問題。

問 空き家バンクの現状と課題は

答 広く周知していきたい

問 空き家バンクの登録件数が少ないがどのよう

答 登録数も少なく、成約件数も伸び悩んでいる。市の空き家バンクの情報量をいかに増やしていくかということ

に捉えているか。また、目的を鑑みるに県外の方にどれだけ目を留めていただくかも大切だが、空き家の情報サイトと市の載せているものが違う。ターゲットインゲはうまくできているのか。

というのが一番重要なことと考え、お話しがあった手法も含めて情報を広く周知していきたい。

その他の質問

- ・創業支援と空き店舗利用の推進は



▲学区制度の見直しを



▲危険な「市道古城ヶ屋戸・征矢田線と県道交差点」



問 古城ヶ谷戸征矢田線の現状対策は

答 5月下旬に要望を頂き回答をした

菅野 健治
議員
(無所属)

問 昨年3月の地元の区総会で県道本宮・岩代線と市道の交差点付近について、車・歩行者による事故が予想されて危ない。まずは、市へ要望すべきとの話があり、今年度区から市へ要望した経緯があるが、その経過は。

答 見通しの悪い県道交差点の拡幅要望を頂き、県二本松土木事務所へその旨を連絡、県から区長へ回答をした経過を確認している。今後は、毎年の移動建設事務所等で県へ改良要望を行っていきたい。市道はすぐに着手するのは難しい。

問 市消防団白沢五分団屯所について

答 老朽化により建て替えを進める

問 当初計画については、本宮8分団の後の予定であり、早急の計画はないとのことだが、年末年始にかけ、候補地を選定していると聞き、現状はどうなっているのか。また、候補地は内定しているのか。場所の良い私有地を検討してみは。

答 昭和59年の建築以来38年が経過している。地元の方々から現屯所に隣接する場所を候補地として選定しており、設計ができ次第、4年度の補正予算により、工事費を計上、令和5年秋頃の完成目標に向けて事業推進を図っていききたい。

その他の質問

- ・柳内14号線の拡幅の認識は
- ・学校給食調理員の充足は、無償化の検討は



▲合併15周年の成果は

問 市として考える合併の成果と現状の課題は。本宮市成立以降5周年10周年の節目において行政活動の成果検証は行われたか。新規育成した特産物は。白沢地区に設定されていた都市拠点ゾーンが最近の土地利用計画にないが事情は。

答 スケールメリットを活かし事業財源確保。課題は白沢地区の人口減対策。節目目での効果検証は行っていない、年度ごとに事業効果を検証。新規の特産物はない。新市基本計画で大まかにゾーニング、平成27年に地域拠点ゾーンとした。

問 本宮市発足15周年の成果と課題は
答 課題は白沢地区の人口減少対策

磯松 俊彦
議員
(みらい創和会)

問 食料安定供給の見通しについて
答 関係機関と連携し対応する

問 農業資材コスト上昇が農業経営を困難にしている。解決の見通しは。日本は食料供給を輸入に依存してきた。国際情勢、社会の動向による市民への食糧供給事情の今後は。市民自らの家庭菜園への取り組みを想定した制度設計へ向けた取り組みは。

答 国内での飼料用米の作付、国は有機農業の取組方針を示しており連携して取組む。市民生活に影響がないよう関係機関と連携し対応する。家庭菜園は遊休農地対策の選択肢、課題として権利取得の下限面積の見直しが必要、調査研究したい。



問 令和元年東日本台風被害について
答 本市の被害総額は11.5億円

馬場 亨守
議員
(無所属)

問 ①被害総額は。②激甚災害の対象被害総額は。③台風被害による市財政負担の総額は。④財政負担総額に対して返済計画は。財政運営計画では令和2年に実質公債費比率11%計画だが、債務圧縮すべき。⑤慰霊碑建立の考えは。

答 ①商工業61億円。安達疏水揚水ポンプ5億500万円。災害廃棄物48億円。民間の床上浸水、車、動産、家財等含まず。②39億円。③廃棄物処理17億7,500万円、第1保育所8億5,000万円、サノライズ約8億円。④償還10年、年6,600万円。⑤考えていない。

問 市道の修繕について
答 鍋田2号線通学路修繕測量調査済み

問 市道の修繕について
答 本宮まゆみ小学校南側から西側へ伸びている市道万世・鍋田線225m、山田・瀬樋内線から安達太良サービスエリアへ伸びる市道平井一号线については、全て同時に舗装のうち替え等を行うのは困難な状況のため、今後計画的に修繕を進めたい。

問 本宮瀨樋内、一部鍋田、平井地区の市道の修繕計画について。40年前にでき、通学路になっていくが排水路がない。早急に着工すべき。もう一路線も40年前にできたが、ぼろぼろである。早急に着工すべき。

問 本宮まゆみ小学校南側から西側へ伸びている市道万世・鍋田線225m、山田・瀬樋内線から安達太良サービスエリアへ伸びる市道平井一号线については、全て同時に舗装のうち替え等を行うのは困難な状況のため、今後計画的に修繕を進めたい。

問 本宮まゆみ小学校南側から西側へ伸びている市道万世・鍋田線225m、山田・瀬樋内線から安達太良サービスエリアへ伸びる市道平井一号线については、全て同時に舗装のうち替え等を行うのは困難な状況のため、今後計画的に修繕を進めたい。



▲古い市道の早急な修繕を



問 温室効果ガスの現状と取組みは

答 家庭用蓄電池、生ごみ処理機等補助

根本 利信
議員
(新風会)

問 温室効果ガス排出実績ゼロを目指すうえで、本市の現状は。また、令和3年度は、クールチョイスの推進事業で全世帯向けのマイバックを作成配布や太陽光システム設置などに支援をしてきたが、令和4年度の具体的な取組みは。

答 温室効果ガスの排出量は、県内で11番目に多い。特に産業部門は34番目で進出企業が多く経済活動が活発であることが要因。ゼロカーボン推進計画の策定を進め、太陽光発電に家庭用蓄電池の上乗せ補助、生ごみ処理機の購入補助等を展開。

問 本市の成人式の在り方は

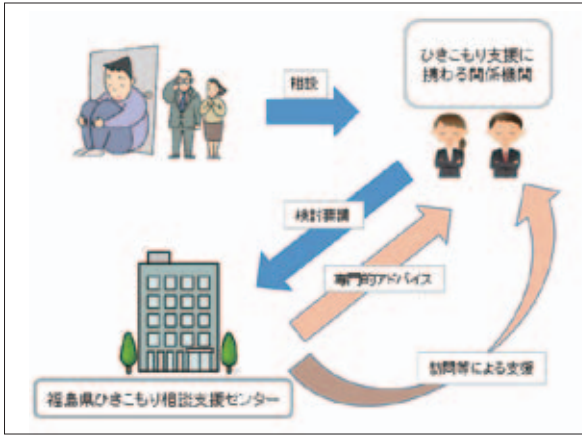
答 対象年齢は従来通り二十歳とする

問 成年年齢を二十歳から十八歳に引下げる民法改正が4月1日より施行される。見直しは、約140年以上前に定められて以降初めての変更。成人式を行うにふさわしい年齢、成人式をいつやるのか本市の成人式の在り方、実施の考えは。

答 総合教育会議及び、教育、社会教育委員会にて協議をした結果、成人の対象年齢は従来通り二十歳とし、名称は二十歳を祝う会とする。4月以降十九歳、十八歳の方には、成人としての心構えを含め、お祝いのメッセージを届けたい。



▲ゼロカーボンを目指していく



▲ひきこもり支援の整備を



問 支援者の人材育成取り組み状況は

答 支援員の育成を図っていく

石橋今朝夫
議員
(みらい創和会)

問 ひきこもり支援に当たっては、支援者が当事者や家族の思いに寄り添うことが必要であるため、直接声を聞くことも大切である。今後の支援者への研修実施と人材育成の取り組み状況、包括的な支援体制の整備についての考えはあるのか。

答 県等の研修会へ積極的に参加や、支援員育成に係る人材育成は継続して取り組んでいく。家族の声を聞く研修会もあり、機会を捉えて参加できるように支援員の育成を図る。支援体制の整備については、様々な分野があり、研究協議をしている。

問 肥満傾向児への取り組みは

答 保護者を巻き込み指導していく

問 全国的に肥満傾向児が増えているが、本県は全年齢で平均を上回っている。生活習慣の見直しや健康施策により、全国との差が縮まっていたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う生活様式の変化に今後どの様に取り組むのか。

答 本市でも同じ傾向が見られ、肥満改善に向けた健康教育を各学校の計画に沿った形で実践し、生活習慣病の指導を行っている。各家庭に配布の保健だよりで保護者への啓発を行い保護者を巻き込みながら指導を継続していく。

その他の質問

- 高齢者への虐待対策は
- 子どもの体力向上策は



▲人材不足への対策を



問 認知症施策の新たな取り組みは

答 伴走型支援事業の取組予定はない

齋藤 雅彦
議員
(新風会)

問 地域の介護サービス事業所を活用し認知症の人と家族に対する専門的な相談や助言を、認知症の症状や課題が把握された早い時期から行える体制を、日常的かつ継続的に行う伴走型相談支援拠点整備を推進することで、支援体制の充実を図る考えは。

答 既存の認知症グループホームなどを活用し、ケアマネージャーや地域包括支援センター職員との相談に、専門職の認知症ケアにおける工夫等を助言する事業だが、認知症初期集中支援チームや地域ケア会議の活用で同等の成果が得られている。

問 今議会で消防団の処遇改善の改正案が提出された。もう一つの問題は団員確保が厳しくなりサラリーマン団員がかなりの割合を占めている。サラリーマン団員雇用事業所への協力要請など地元事業者が団員確保の課題となっているが対策は。

答 災害の多発化・激甚化による消防団の負担増加を踏まえ、4年度から年額報酬等活動報酬の支給額の引き上げを行った。地元事業所への働きかけは消防団協力事業所表示証の交付をしている。今後、消防団員の条例定数削減も検討する。

その他の質問

- ・待機児童ゼロに向けた保育士確保の取り組みは
- ・本宮市地域再エネ導入戦略の施策事業について



問 JR五百川駅周辺の開発について

答 駅の北側開発のみ検討中

遠藤 初実
議員
(無所属)

問 五百川北側の土地利用の進み具合と現在の建物を利用しながら改札口のみを北側の土地に移動する考えは。中長期的発展を考えると東西アクセスが必要。歩道橋を東側に増設し、土地の開発も同時に進める利点を考えては。

答 令和4年度中に用地取得と事業開始を考えている。県北建設事務所も現地確認が済んだ。現在JR東日本と協議中のため、北側の土地開発のみ計画中で、改札口の北側移動や駅東側の土地利用や東西アクセスについては白紙である。



▲利便性を含めた駅周辺開発を



▲ SDGs 事業継続に向けた支援を



問 定住促進を図る方策は

答 スピーディーに協議をしていく

国分 勝広
議員
(無所属)

問 郡山市熱海町の西部第一工業団地50haが分譲済状態で、追加工事分を合わせると85haで約5,800人の雇用者が見込まれる。本宮市としても近隣区域である大字地域に定住者を受け入れる準備を考える時期と思われる。

答 1,000平米以上の開発がある場合に開発指導要綱に基づく協議でやっており、あの周辺の開発の話の際にはスムーズに手続きと協議が済むように関係する各課と連携を取りスピーディーに事業者との協議をしていきたい。

問 人口が増加している市町村は教育と子育て支援に力を入れている。大字地域の定住者増の可能性から推測すると、恵向公園の仮設住宅跡地は将来を担う子供達のために、遊具のある遊園地とすべき。なぜ高齢者優先の施策なのか。

答 グラウンドゴルフ愛好者の方々から芝生の上でグラウンドゴルフをやりたいから造っていただけないかと要望書はある。恵向公園は、恵向公園のコンセプトを考えていく。

その他の質問

- ・中学生に主権者教育を
- ・中学生議会を開催しては



▲恵向公園仮設住宅跡地の有効利用を



問 SDGs 事業継続支援を

答 適時適切な時期に資金投入

円谷 長作
議員
(みらい創和会)

問 ①飲食店は、新型コロナウイルス感染症対策により、度重なる営業時間短縮を受けて厳しい状況にある。課税所得は。②来年度以降も事業主の実態などを踏まえて商工会と一緒に、事業継続の支援をするべきではないか。

答 ①売上金で見るとコロナ前の平成30年と令和2年を比較すると平均8%減少している。国、県、市の支援により売り上げ減少分を軽減している。②今やめたいという情報は入っていない。適時適切な時期に資金を投入していくことが大切。

問 高齢化が進む中で、高齢者世帯数は。ゴミ出しが困難な世帯に対し、安達地方広域行政組合の清掃費負担事業としているが、基礎的コミュニティ集団である隣組を活用して、地域交流を含めて行政区支援事業としてできないか。

答 高齢者世帯は、令和4年2月現在、高齢者一人世帯696世帯、高齢者のみの世帯は554世帯、世帯人数は1,142名である。安全・安心の社会構築の観点、自主防災活動などにも生かせることから、先進事例などを調査する。

問 コミ出し支援を行政区支援事業で先進事例などを調査する



▲給食費の支援増を



問 ワクチン接種や検査等の状況は

答 ワクチン接種等順調に進んでいる

渡辺 忠夫
議員
(日本共産党)

問 感染症対策の基本は、検査をして見つける。見つけたら隔離、医療に結び付けることが基本と言われている。国の対策は自己責任の押し付けのようだが、ワクチン接種や検査等の状況は。

答 ワクチン3回目の接種は順調に進んでいる。当初の計画よりも前倒しの変更をし接種者数は8,036人で国平均より進んでいる。検査についても、県の事業で無症状者を対象にPCR検査は142人実施した。4回目の計画はない。

問 学校給食費の支援費の予算を見ると昨年同様の予算のようだが、考え方が、コロナ対策がいろいろあるが、保護者にとってもコロナ禍の影響は大きく受けている大玉村で当初の3割から5割に村負担を引き上げている。周りを見て検討するべきでは。

答 令和2年度に給食費を値上げした際に一部の部分を支援した。令和4年においても引き続き同額の負担を継続したい。給食費はそれぞれの自治体において考え方が異なる。本市においては現在の支援制度を継続したい。支援の上積みは考えていない。

その他の質問

- ・国民健康保険会計で子供の均等割りを減免しては



問 普通財産更地の将来性について

答 貴重な財産・方向性定めたい

三瓶 幹夫
議員
(無所属)

問 糠沢字愛右地内は、小田部公園として地域に親しまれた土地柄で、昭和43年白沢母子健康センターが開所。その後、昭和58年白沢第一保育所として開所の記録がある。実態を把握し、処分すべきもの、管理すべきものと将来の方向性は。

答 昭和24年に当時の和木沢村が中学校敷地として、個人から寄付を受けた土地であることから、経緯にも十分配慮しながら、地域の方々のご意見、要望等も伺いながら今後の方向性を定めていきたい。

問 通学路への防犯灯設置について

答 新しい技術の進展を注視する

問 防犯対策は、地域ぐるみの防犯活動を推進し、犯罪を未然に防止する環境づくりを望み、防犯灯を必要と求めている。これからの時代は、太陽光電池とも考える。市民の願いと、思いやりのある防犯灯設置計画を期待している。

答 原則として、東北電力が設置している電力柱の添架の方法で設置している。太陽光発電を利用した考え方も調査したが、技術的に不安があり、心配される。新しい技術が進み、耐久性に優れた製品に期待し、技術の進展を注視する。

その他の質問

- ・松沢字弥五郎地内更地の将来性について
- ・旧第2こども館（白岩関根）の将来性について



▲市財産の管理徹底を

ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議する決議を可決

3月定例会において、発議第1号が可決されました。内容については以下の通りです。

去る2月24日、ロシアはウクライナへ軍事侵攻し、ウクライナの主権と領土を武力で侵害する暴挙に出た。民間人を含め多数の命が奪われ、国際社会の平和と安全を著しく損なうものであり、断じて容認することができない。

これは、明らかに国連憲章及び国際法に違反し、国際社会の秩序の根幹を揺るがすものであり、国際社会が連携し、毅然とした対応で臨んでいかなければならない。

よって、本市議会は、ロシアによる暴挙に断固として抗議し、即時の攻撃停止と完全撤退を求めるとともに、日本政府においては、ウクライナ国民に寄り添い、経済支援を含めたあらゆる支援、在留邦人の安全確保に全力を尽くし、さらには国際社会と強く連携し、経済制裁措置を始めとする厳格な対応をとることを強く求める。

インターネット中継をご覧になったご感想をお聞かせください!

本宮市議会ホームページへアクセスする。

<https://www.city.motomiya.lg.jp/site/gikai/>

↓
サイト内「市議会の紹介」の中にある「市議会へのご意見、議会中継のご感想」をクリック

↓
議会の中継のご感想をご自由にお書きください!

※頂いたご感想は議会だよりに掲載させていただく可能性がありますのでご了承ください。



次回6月議会定例会は

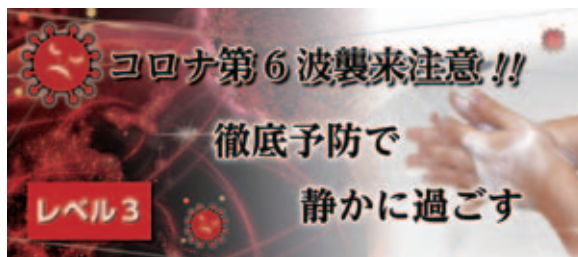
6月8日に開会予定です。

請願・陳情の締め切りは

5月27日(16時まで)です。

※なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。

問い合わせ TEL 24-5435



委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議長	発行責任者
渡辺	国分	三瓶	菊田	根本	磯松	石橋	斎藤	三瓶	三瓶
善元	勝広	幹夫	広嗣	利信	俊彦	今朝	藤彦	三瓶	裕司

新型コロナウィルス感染症対策を講じて、マスク着用して、3月定例会が開催されました。本年1月に、市は合併15周年を迎えました。合併20周年へ向けて「もっと笑顔に未来へ躍進するまちもとみや」をスローガンに新たなスタートの年。3月定例会では予算審査特別委員会が設置され、慎重な審査が行われました。最終日では、令和4年度一般会計当初予算156億2,500万円円原案通り可決し閉会となりました。

SDGsの理念と考え方を取り入れ、持続可能な社会を目指し、また、皆さんと一緒に人口の減りまじょう。

三瓶(幹)

あ
と
が
き